

概要

今後、告示が予定されているICD-11（2023年版）準拠の「疾病、傷害及び死因の統計分類」について、基本分類表に記載されている分類名のうち、「サル痘」を「エムポックス」に名称変更を依頼するもの。

背景

【国外】

令和4年11月28日:人種差別やスティグマのような表現が見られた事から、WHOは「mpox」の使用を推奨することを公表。

【国内】

令和5年5月26日：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令（平成10年政令第420号）において、「サル痘」が「エムポックス」に名称変更。

早急に変更が必要である理由

- エムポックスについては男性間の性的接触を介しての感染が多く報告されており、「サル」は感染経路に介在していない。「サル痘」の名称の利用を継続することは、人種差別やスティグマにつながりかねないため。
 - 統計基準として基幹統計の表章に使用される場合、あらゆる基礎資料として利用される可能性があることから、記載の正確性を確保する必要があるため。